

「市民対象住民説明会」（第5回）質疑要旨

日時：平成30年6月24日（日） 14:00～16:00

場所：多家良中央コミュニティセンター（徳島市多家良町小路地）

出席者：市民11人、徳島市8人

質疑応答の概要は、以下のとおり。

Q 1	施設運営にPFI方式を導入すれば、問題が発生した時に徳島市はどう責任をとるのか。また、現業職員に影響はあるのか。
A 1	PFIについては、現時点で導入するかどうかは決めていません。また、現業職員の職場は確保されており、正規職員が解雇になることはありません。
Q 2	放射能ごみの処理基準が緩和されているのに放射能に汚染されたごみが搬入されないといえるのか。また、汚染された土壌が公共事業に再利用される方針で進められていることについてどう考えているのか。
A 2	他市町村間のごみの移動には、依頼と承認があって初めて行われることであり、本市に搬入されることはありません。 また、公共事業への再利用については、本事業で再利用されるわけではなく、一般廃棄物の処理に関する話であるため、異なる案件であると思います。
Q 3	運営方式が民間委託の場合、民間業者が違反をして高レベルな放射能ごみを持ち込むことはないのか。
A 3	仮に民間委託となった場合でも、ごみの搬入については直営車両、許可業者、一部市民の持込以外に入り込む余地はありません。現有施設である東部、西部環境事業所においても、そのような怪しいごみが搬入されたとの報告はありません。十分なチェック体制を敷いていますので、心配されるようなことはないと考えています。
Q 4	6市町での整備費約200億円となっているが、徳島市が施設を受け入れることによる経済的メリットはあるのか。
A 4	現時点の総事業費445億円のうち、6市町の実質的負担が約200億円となります。この200億円を6市町で負担をすることになりますが、6市町間で結ばれている協定書により、均等割りや人口割によって負担割合を定めています。協定書に定められた負担割合で計算すると本市の負担は約91億円となります。 仮に単純に人口比で計算すると、本市の人口比は70%程度であるため、約140億円が負担額となり、その差額が経済的メリットになるものと考えます。
Q 5	ごみ処理施設を受け入れる地元へのメリット、インフラ整備等の計画はあるのか。
A 5	現段階では、具体的に地元と話し合いをしている段階にはありません。これか

	ら、地元の皆様と話し合いを重ね、どのような周辺環境対策ができるのかという事について、相談していきたいと考えています。
Q 6	環境保全目標値を排ガスの排出量に当てはめると、どのぐらいの量になるか。
A 6	重量の計算は可能ですが、重量では比較する基準がないため、検討する予定はありません。本市が整備する公共施設は、法基準や条例の基準値を基に想定され、公表されることとなります。
Q 7	新設を予定している橋梁は、どの辺りに架けるのか。また、搬入出ルート of 道路拡幅は行われるのか。
A 7	橋及び道路拡幅も県と協議中であり、具体的な位置や計画を公表できる段階にありません。
Q 8	他の建設候補地は公表しないのか。
A 8	現時点では、公表予定はありません。現在、飯谷町を最有力候補地として説明している最中であり、他の候補地を公表すると混乱が起す恐れがあるため、公表していません。
(意見)	市民を対象とする説明会の会場について、多家良地区以外の場所を実施してみてもどうか。
Q 9	施設見学会への参加の呼びかけは、どのように行っているのか。
A 9	広報は行わず、多家良地区限定で見学会への参加を呼びかけました。
Q 10	市民会議の募集要項にある「市民若干名」とは何名なのか。
A 10	具体的な人数は決めていません。
Q 11	市民会議の募集作文のテーマは「新ごみ処理施設に期待すること」であるが、施設建設に賛成の人しか採用しないのではないのか。
A 11	施設建設に反対の意見であっても、素晴らしい内容であれば採用します。市民会議は、新たに建てる施設をどのような施設にしたいかについて話し合っていく会議であり、建設することへの賛成、反対について話し合う会議ではありません。
Q 12	資料 42 ページのスケジュール案のとおり、今年度中に全て終了するのか。
A 12	役所であるため単年度主義が原則であり、予定として年度内に可能な項目を記載しています。予定通り進めるためには地元の皆様の理解が不可欠であることから、見切り発車して進めることはありません。
Q 13	900℃以上でごみを焼却するとあるが、具体的に何度ぐらいで大気中に放出されるのか。
A 13	900℃の熱がそのまま出ていくわけではありません。新施設の温度はまだ具体的に検討はできていませんが、現有施設である東部、西部環境事業所で排出されるガスの温度は 160℃から 170℃ぐらいです。それがそのまま周辺の温度を上げるわけではなく、拡散され風に乗って放出されます。

以 上